

令和 7年度予算見積調書

課室名：感染症対策課

担当名：感染症担当

内線：3563

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
S52	新興感染症対策連携強化事業費			一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	新興感染症対策事業費			
事業期間	令和7年度～令和11年度	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 新型インフルエンザ等対策特別措置法			針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	3		
						分野施策	0104 感染症対策の強化	SDGsターゲット	3-3		
1 事業概要				5 事業説明							
ア 感染症版FEMAの拡充 3,658千円 「流行初期以降」の訓練実施及びシナリオ等の作成により、関係機関との連携及び新興感染症対応力の強化を図る。				(1) 事業内容 ア 感染症版FEMAの拡充 3,658千円 「流行初期以降」の訓練実施及びシナリオ等の作成により、関係機関との連携及び新興感染症対応力の強化を図る。							
イ 新興感染症流行初期における必要物資の備え 67,565千円 流行初期による個人防護具の不足に起因した医療停滞を防ぐため、個人防護具の不足する医療機関に対する支援を目的として、県で流行初期1か月分の備蓄を行う。				イ 新興感染症流行初期における必要物資の備え 67,565千円 流行初期に個人防護具の不足する医療機関に対する支援を目的とした1か月分の備蓄を実施する。							
2 事業主体及び負担区分				(2) 事業計画							
ア (国1/2・県1/2)				ア 医療機関をはじめ30機関の参加により、「流行初期以降」の訓練を実施 訓練実施後に「シナリオ(具体的な対応内容や実施上の課題)」「役割分担表(各実施主体の処理事項)」「タイムライン(処理事項の時間軸)」「活動手順チェックリスト(アクションカード)」を整備し、関係機関に共有							
イ (県10/10)				イ 購入による備蓄を最小限にするとともに、耐用年数経過による廃棄を大幅に節減する。卸業者等と連携し、必要量を経済的かつ確実な方法で調達する。 直接購入及び流通備蓄							
3 地方財政措置の状況				(3) 事業効果							
なし				ア 関係機関間における感染対策の課題・施策の共有 イ 医療機関が流行初期の1か月間について、個人防護具の不足なく、医療を提供できる							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円				【活動指標(アウトプット)】 FEMA参加機関30機関、個人防護具等の確保1か月分 【成果指標(アウトカム)】 幅広い分野・地域の関係機関によるネットワークの構築 シナリオ等作成による新興感染症対応力の強化 物資不足に起因する医療提供停滞の防止							
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比		
		国庫支出金									
決定額	71,223	1,557					69,666	71,223			
前年額	0						0				

事業内訳書

事業名	新興感染症対策連携強化事業費		
単位事業名	感染症版FEMAの拡充	予算額	3,658千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 公衆衛生費補助金	1,557	1,557	感染症予防費補助金 補助率 1/2
一般財源	2,101	2,101	
合計	3,658	3,658	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	40	40	FEMA訓練参加機関との打ち合わせ
需用費	60	60	FEMA訓練消耗品
委託料	3,558	3,558	FEMA訓練シナリオ作成等業務委託
合計	3,658	3,658	

単位事業名	新興感染症流行初期における必要物資の備え	予算額	67,565千円
-------	----------------------	-----	----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	67,565	67,565	
合計	67,565	67,565	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	31,850	31,850	個人防護具購入
委託料	35,715	35,715	流通備蓄委託
合計	67,565	67,565	